



発行所

岐阜農林高等学校
同窓会事務局

TEL <058> 324-1145

<http://www.ginou-douso.org/>

岐阜農林高等学校 卒業おめでとうございます



岐阜農林高等学校 同窓会
会長 大西 隆

早春の暖かさに誘われて、周りの木々の芽もほころび始めたこの季節、伝統ある我が母校岐阜農林高校を卒業されます皆さん、誠にありがとうございます。卒業されます皆さんの喜びと、希望に満ちあふれた気持ちを拝察いたしますとともに、心からお祝いを申し上げます。また保護者の皆様方、そして指導していただきました先生方、学校関係者の皆様におかれましても重ねてお祝いを申し上げます。

我が母校は「不撓不屈」の精神の基、一筋に農業教育が実践され、その精神は116年もの長い伝統の中に先輩から後輩の皆さんに受け継がれてきました。多くの卒業生が各界で活躍され、大きな業績を上げてこられました。農業関係はもとより学校教育、またスポーツ界その他いろいろな業界に岐阜農林高校の卒業生としての誇りを

持って、今なお活躍しておられます。皆さんは本日をもって伝統ある岐阜農林高校同窓会に入会されました。同窓会といたしまして心から歓迎を申し上げます。日本の農業も大きな転換期を迎え、大きく舵を切り換えなければならぬ時が来たようです。周りを見回すと耕作放棄地が大変多く、農業の担い手の高齢化と減少などこのままだと将来が大変心配される状況になってきております。一方で昨年はPPPの大筋合意がなされ、日本農業も国際市場の土俵に乗ることになり、他国と競争せざるを得ない状況になりました。政府も日本農業が足腰の強い自立した農業となることを目指して、多くの施策を実施し始めております。農業は生命産業であり日本の基本産業であります。21世紀は「農業の時代」と言われ、農業の

発展なしに日本の発展はないと思います。私たちは卒業される皆さんのような若い人たちの今後の活躍に期待しているものです。卒業されます皆さんはこの3年間に母校に学び、またスポーツ、クラブ活動や地域への貢献活動など充実した学校生活を送ってこられました。皆さんのこの高校での学校生活は、これからの人生での一通過点かもしれないですが、この経験が大きな宝になることを期待しております。

「不撓不屈」の精神の基、誰かに頼るのではなく自ら積極的に行動する姿勢を持ち、知恵と経験を基に汗を流して山積する問題を解決して、社会に貢献できる人材になってほしいと思います。今社会はそんな人材を求めています。そんな期待に応えられるように岐阜農林の卒業生としての誇りと自信を持って、たくましく輝かしい人生を送ってほしいと思います。

最後になりますが、卒業されます皆さん、これから進学、就職へと新しく始まる人生が前途洋々なることをお祈りしお祝いの言葉とします。

同窓生必読の
親しい便り。
農林の指針
一人でも多く
読みましよう。
(希望者は事務局まで)

購読料 年3回発行(郵税共)
年1,000円

印刷所
岐阜文芸社

東海ホリの
農用ポリ手レザイルム
東海ポリエチ工業所

岐阜県羽島郡岐南町野中
☎<058> 246-1313
名古屋営業所
名古屋西区前の川町四丁目
☎<052> 521-9296

社長
大野 實

建設コンサルタント
株式会社 **ユニオン**

代表取締役
村橋 元
(昭和37年上卒)

〒501-0106
岐阜市西河渡2丁目57
電話 <058> 253-3111

支店・営業所
名古屋・恵那・高山・郡上・大垣
中濃・各務原・羽島・下呂・掛川
福井

ヒナ・資材・鶏卵加工販売
株式会社 **後藤孵卵場**

岐阜市西野町7丁目北町13
TEL <058> 251-2231
FAX <058> 253-0812

ゴトウグループ
ゴトウテクニカル
グローバルチック
岐阜養鶏農協

Central Rose Nursery

〒501-04 岐阜県本巣市七五三 一の坪724
Phone (058) 324-7203 Fax (058) 324-6277
大西 隆 (昭和45年農卒) 裕 (平成7年工卒)

株式会社 **スギスイ住設**

代表取締役
杉山 卓雄
(昭和54年農卒)

- 給排水空調設備工事
- 住宅水廻りリフォーム
- 住設ショールーム
- 雑貨 ガーデニング 喫茶

〒501-0531
事務所・ショールーム
揖斐郡大野町上磯67-1
☎0585-34-2487

クリーンな未来を。

今日は、昨日の未来。
そして、今日の一番近い未来は、明日。
新しい世紀が訪れても、昨日、今日、明日、
その一日一日の積み重ねが、
未来を創っていくことになりません。
環境を進化させるコンクリートは
“地球の創造素材”である。
と私たちは自信しています。
自然と人と社会。
それぞれの調和を大切にしながら、
シンプルに生きる。
21世紀は、本質に還る時代です。

SHOWA

プレストレストコンクリート設計製作施工
コンクリート二次製品製造販売
昭和コンクリート工業株式会社

〒500-8703岐阜市香蘭1丁目1番地
TEL.058-255-3333 FAX.058-255-3330
代表取締役 村瀬大一郎



祝 瑞宝双光章
教育功労
本郷 雅彦氏
(元本校職員)



祝 旭日双光章
地方自治功労
柘植 弘成氏
(昭和36年農業科卒)



祝 瑞宝小綬章
教育功労
郷 峰 男氏
(昭和39年農芸化学科卒)



祝 瑞宝小綬章
教育功労
小倉 新司氏
(昭和38年農業土木科卒)

昨年末、全国高校選抜バスケットボール大会で、高校女子初の3年連続3冠(高校総体・国体・選抜大会)を狙った桜花学園に大逆転し岐阜女子高校が初優勝した。夏の高校総体は4点差、国体では2点差、『負けて悔しいからこそ学んだことが多かった』と安江氏が言うように三度目の正直で見事な勝利を収めた。岐阜県勢としては、男女を通じて初の優勝という快挙である。

大東文化大学卒業後、社会科の教員として1976年岐阜女子高校に赴任した。当時はバスケット部がなく、ソフトボール部の顧問となった。2年目にバスケット部を創部したが、体育館は使わせてもらえず、道具も当然何もない状態である。グラウンドにコートを書き練習をした。雨が降れば校舎の廊下で練習をした。そんな状況にも決して諦めず地道な練習を続けてきた。その後10年以上かけて全国レベルに引き上げることができた。日本一を目指す選手も入学するようになり、一層練習にも熱が入るようになった。ただし、選手には『誰にも負けない努力をしない』と努力の大切さを説いてきた。実際、今大会前にも選手には『日本一努力するチームが日本一になれる資格がある』と言っている。基礎基本の反復と徹底、挨拶やゴミ拾いなど私生活を徹底させた。技術だけではなく心を磨くことでチーム力を向上させた。その結果、優勝という悲願を達成した。

安江氏はこんなことも言っていた。『県大会の2位の賞状が22枚もある。負けた回数の方が多い。でも決して恥ずかしいことではない。負けて悔しい思いは次に頑張るエネルギーになる』この言葉で何人の指導者が救われ、勇気をもたらえたことだろう。そんな安江氏の岐阜女子高校だからこそたくさんの人たちに応援してもらえるのだと思う。(文責 山田祐治)

活躍する同窓生

☆高校女子バスケットボール
全国制覇を達成して☆
安江 満夫 さん
(昭和47年農業土木科卒業)



安江氏コメント

母校岐阜農林高校を卒業して44年あまりになります。大学を卒業して新卒で教員になり44年現役で奉職しております。

高校時代はバスケットボール部に在籍して3年間寮生活の中、勉強し部活動に励んできました。現在もバスケットボールに携わっていて、昨年12月には指導者になって40年、自らが指導するチームが念願の「日本一」になることができました。

ここまでたどり着くには幾多の試練がありました。しかし岐阜農林時代からの仲間や先輩方、恩師の支援なくては考えられません。紙面をお借りして改めて感謝申し上げます。

更なる母校岐阜農林高校の発展をお祈りしております。

同窓会総会 報告

10月3日(土)に岐阜農林高等学校同窓会総会が開催されましたので、ご報告いたします。総会はホテルグランヴェール岐山にて、午後2時より開会。物故者黙祷、会長挨拶、学校長挨拶に続き、同窓会事業報告、会計決算報告、会計監査報告が事務局から報告されました。事業報告内では、同窓会からの部活動奨励金を全国総体出場の男子バスケット部、相撲部、全日本馬術競技大会出場の馬術部に授与し、個人では柔道部で全国総体出場の津田真佑さん、全国高等学校総合文化祭出場の書道部長野綾音さん、技能オリンピックフラーアレンジメント出場の河村佳音さんに授与したとの紹介がありました。また、次年度予算案についても事務局から提案され、総会にて承認されました。

議事後、講演が行われ、「チャンスを生かして」と題して、株式会社「菜っちゃん」の代表取締役社長であり、本校農業科の卒業生である後藤展子氏による講演が行われました。後藤氏は、岐阜農林時代は同世代の女子があまりおらず、男子に交じって実習や体育を一緒にやっていました。当時は目的があまりなく、むしろ農業は合わないのではないかと思う日々がありました。また、大学進学も親に反対され、卒業後はいくつかの農

業研修に参加されましたがなかなかうまく続かない日々がありました。農業普及センターの農業青年クラブ女性部で活動している時に、中津川市のお茶農家の方と出会いました。嫁いだ先ではお茶、野菜、米をやっており、春先はお茶、夏から秋、冬は野菜などを作り、自分なりに嫁ぎ先を盛りたてようと思ってきました。しかし、頑張ってもなかなか認められない日々が続き、体調を崩してしまう日もあったそうです。挫けそうになることも多かった中、子どもが大きくなると、周りが変わらぬのであれば自分が変わらぬと家にはいられないと自分を奮い立たせ、何かを始めようと思うようになりました。そんな頃、女性農業者グループから、農業委員になつてはどうかと勧められ、周りの応援や岐阜農林時代に培った精神が後押しとなり引き受けることになりました。農業委員になり地域のために自分に何ができるだろうと考えていた時に、ある女性農業者の方から、手塩にかけた農産物を市場に持って行っても二束三文の値段で買い叩かれてしまうという話を聞き、直売所を作ろうと考えました。また、農産物だけでなくお惣菜等を製造し販売する等、新しい試みにより、家族や地域の方々から応援されるようになりました。しかし、数年後に補助金が終わったことにより、店舗の賃貸料等の経費が重く押し掛かってきました。

そんな中、サラダコスモの中田社長と出会い、現在のちこり村で農産物を使った食堂を開くことになりました。当初は料理の種類も調理の腕もまだまだで、お客さんが何を求めているのか等、わからないことも多かったそうです。そこで、スタッフ全員で同じようなファミリーレストランを視察し、家庭の味を売りにしたビュッフェ形式のレストラン「バーバースダイニング」が誕生しました。経営していく中、自分たちの作るお店のイメージではなく、お客様のイメージするお店づくりが大切だということに気付きました。最後に、これからもつらいこと等あるかと思いますが、それをチャンスと捉えて、NOといわずにこれからも頑張っていきたいと締めくくりました。



恒例の懇親会は、平成5年卒と平成25年卒の幹事により進められました。大西会長の挨拶の後に乾

杯で懇親会が開会。懇親会は和やかに行われ、同窓生の近況報告やビンゴゲーム、本校職員が登壇しての参加者全員での校歌斉唱を行いました。最後に今年5月に発足した岐阜農林高校同窓会池田支部の遠藤氏による一本締めにより、和やかな内に閉会いたしました。(文責 細川裕也)



揖斐川支部活動報告 (その22)

①平成27年度同好会報告

1 ハイキング同好会
10月31日(土)今回は岐阜教区仏教壮年会と揖斐郡仏教壮年会合同企画(主催)による『歩こう会：み教えとともに』に会員5名と家族1名、6名で谷汲長瀬の善立寺から根尾金原の圓勝寺まで約10キロのハイキングに参加(総参加者80名)。
善立寺では門徒であられます本会の河村住夫支部長と滝瀬忠彦氏が出迎えてくださいました。9時30分に出発 根尾川の紅葉を楽しみながら途中高科駅でトイレ休憩、先頭よりピリの方でしたが圓勝寺へ着くことができました。しいたけ園の弁当をいただき午後1時30

2 旅行同好会

今年度は、元谷汲村(現揖斐川町)の交流先、愛知県の日間賀へ行きました。
3月9日(月)正午、JR岐阜駅に今まで最高の14名が集合、各自で昼食をとってから名鉄岐阜駅から特急電車で河和駅に向かいました。
河和港からは高速艇で約20分日間賀島西港に着き、徒歩5分で宿「大海老」に到着。
午後6時からの宴会には、地元の方と交流し、大変盛り上がりました。翌朝は冬型の気圧配置になって、日間賀島でも強風で雪がちらちら寒さになりました。
10時にチェックアウトの後、再び高速艇で河和港に戻り、知多半田駅で途中下車、半田市内の街並みを散策、ミツカン酢工場の隣にあるレストラン「魚太郎」で昼食後、雪がちらつき始めた中を駅ま

分出発、くたくたでしたが岐阜魂で往復歩き善立寺へもどることができました。お楽しみ抽選会で、地元のものいろいろなお土産をいただき帰宅しました。
今回は会員河瀬慶司さんのご案内で、親鸞上人をはじめ多くの先人が仏様の伝道活動されたご苦労を体験し、歩きながら語らいの輪を広げることができ、楽しいハイキングでした。
(記事 同好会代表 井口清水 農39)

で戻り、一宮駅で解散して、雪の中めいめいの家路につきました。

揖斐では10〜20cmの積雪になっていて、山間部の参加者はかなり難儀されたと思いますが、バスと電車の楽しい旅行でした。

次回は、更に参加者の上積みが出るかと一層楽しい旅になると思いますので、奮ってご参加をお願いします。

(記事 同好会代表 高田善信 農34)

3 ゴルフ同好会

会員の皆様のご協力で予定どおり3回プレイできました。揖斐支部同好会発足以来では22回実施、和気藹々で楽しいゴルフを継続しています。

昨年度の成績は次のとおりです。

第20回(4月24日) 岐阜国際CC 10名参加

優勝 細野道秋様 (ネット80・0)

第21回(7月13日) 大垣CC 10名参加

優勝 横山義明様 (ネット77・8)

第22回(10月22日) 岐阜国際CC 9名参加

優勝 太田千年様 (ネット76・6)

昨年は会員20名で1回以上の参加実績15名。全員1回以上参加できるよう、曜日等検討したいと思います。新規入会大歓迎、お待ち

致しております。

(記事 同好会代表 香田光義 農36)

4 野菜同好会

本年度は、揖斐公民館で夜間の研修をしました。

2月20日(金)夏菊(小菊、中菊)の栽培について

*夏菊の特徴は、植え付けて(挿し芽)から、凡そ90日で収穫時期。

*夏菊(夏用)の苗を準備すること。
8月26日(水)柿の木の接木について

*4月が接木の適期である。
*このため、2月には穂木の準備をする。

等、会員一人一人が今までに経験したこと、学んだことを報告しあう研修活動をしています。次回は、アスパラガスの栽培について研修する予定です。

(記事 同好会代表 岩間庄三 化39)

②平成28年度 第1回役員会開催

平成28年1月20日(水)19時より揖斐公民館において平成28年度通常総会等について協議し、次のとおり決めました。

平成28年度通常総会を平成28年3月5日(土)17時30分から谷汲山門前「立花屋旅館」で開催します。総会終了後の懇親会費は7、

000円です。

又、引き続き新規会員の勧誘を進めることを決めました。岐阜農林高校卒業生で揖斐川町に在住の方のご入会をお願いします。先輩、後輩が一堂に会し、今やっていること、これからのことなど語らい楽しく交流しましょう。

(記事 支部幹事長 林 孝之 土40)

同窓会だより

昭和34年農業科卒業クラス会

9月22日午後6時より、揖斐川町谷汲の立花屋で開催しました。

8月下旬に一時帰国して周遊中の同級生 青木保君は、昭和38年6月、南米アルゼンチンへの移住農業青年の一員として日本を離れて以来52年、その間数回帰国して、故国での休暇を過ごしてきました。



30年ほど前には一度、彼を交えた同窓会を行っています。今回は75歳という年齢から見ても、おそらく最後の同窓会参加ではないかと思われ、急に呼びかけたところ20名が参加するとの返事を頂き、開催にこぎつけました。

同級生の市橋君は数回、私と故森島君とともに一回、彼の農場や自宅を訪問していますが、当日集まった方々の殆どは、34年に卒業以来初めての再会で、感慨は言葉に出来ないほどでした。

3時間はあっという間に流れ、お互いの健康や息災の言葉を交わし合って閉会しました。

昭和39年定時制農業科卒業第15回クラス会

去る8月9日(日)午前11時より谷汲山華厳寺門前の「立花屋」で13名の参加者で行ないました。

始めに亡き恩師高橋益男先生とクラスメイト8名の冥福を祈り黙祷を捧げました。

平成25年3月10日、上真桑の「潮音坊」で開催(第14回)から2年後でしたが、この間に2名のクラスメイトが亡くなりましたが古稀を迎えたことに感謝をし宴に入り料理をいただきながらの3時間がすぐに過ぎました。話しも悪友時代や岐阜農、現在の体調や欠席者の動向を語りながら次回から毎年行なってはどうかの意見もあり、次の担当本巣市にいるクラ

スメイトにバトンタッチをし、風呂に入りゆっくりした後には散会しました。(文責 井口清水)

昭和46年農芸化学科卒業クラス会
1月4日、岐阜市内の北海道かに將軍岐阜支店において、恩師の郷峰男先生と瀬尾章二先生をお迎えし、同窓生13名が集い10年ぶりのクラス会を持ちました。

郷先生は済美高等学校の学事顧問として非常勤で現在もご勤務、前年秋には、永年の教育功勞として栄えある『瑞宝小綬章』を受章されました。また、瀬尾先生は母校を定年退職後、常勤講師として勤務された岐阜本巣特別支援学校を退職され、現在は地域でボランティア活動等をされています。

昭和46年3月に卒業した38名(物故者4名)の大半は定年退職し、再雇用、嘱託、アルバイト等で働く者、今なお現役で頑張っている者、自宅で野菜作りをしている者、親の介護や病気の治療をしている者等々多様です。

出席者は、幹事の挨拶、物故者の報告を受け、乾杯飲食をしながら一人2分程度で近況を報告し合いました。面々は報告を聞きながら、昔日の面影を残し賑々しく語り合い、久しぶりに旧交を温める楽しくも充実した一時を過ごしました。

最後に、担任の郷先生から近況報告をしていただきました。48年

農業クラブ活動報告

第66回日本学校
農業クラブ全国大会
平成27年度 群馬大会

平成27年

10月21日(水)～22日(木)

県大会(結果)

農業鑑定競技会

会場/群馬県立勢多農林高等学校

区分：畜産

優秀賞 3A 後藤 俊矢

優秀賞 3A 市川 聖佳

区分：食品科学

優秀賞 3F 澤田 朋希

区分：農業土木

優秀賞 3E 横田 悠斗

優秀賞 3E 鶴飼倫太郎

区分：林業

優秀賞 3N 後藤 大河

プロジェクト発表会

会場/前橋市民文化会館

区分：文化・生活 2年連続出場

「飛騨美濃伝統野菜

復活プロジェクト

「信長の愛した

まくわうりを再び」

3A 堀江 紗希 中田 真佑

大竹 菜海 林 咲良

森 亜由望 浅井 幸也



間の教員生活と11月から担当されている高校理科授業のお話、四国八十八カ所巡礼のお話、三冠に輝き春の高校バレー大会に出場した済美高校女子バレー部応援のお話等々、相変わらずのご活躍と先生のお元氣なお姿が浮かぶ有意義なお話を聞くことができました。

クラスメイト34名の近況報告によれば、東は東京から西は兵庫県の範囲に存在し、概ね全員が元気で暮らしています。

今年64歳を迎える我々は元氣ではありませんが、加齢による病氣や怪我、更には死が無縁とは言いきれない年齢にあります。皆の無病息災・健康を祈り、充実した人生を送ること、更には元氣で再会できることを誓い、名残は尽きませんでした。

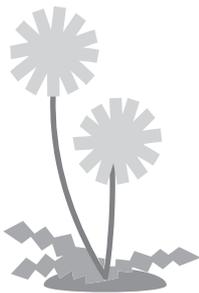
の東京オリンピックの年に開催することを約束し、散会としました。

(幹事 永田義行、小川靖博)

2A 久保田莉彩 村瀬鼓太郎

河崎くるみ 澁谷 恭子

渡辺 恵美 山崎 菜己



岐阜農林に文科大臣賞

中部日本高校演劇 全国切符つかむ

石川県野々市市で二町が最高賞の文部科学大臣賞に輝いた。来演した。農業高校の弱小男子バスケットボール部員が主人公。家庭のイチゴ栽培が忙しくて、なかなかうまくならないが、男子でもかなわない実力を持つ転校生の天才バスケットボール少女「S」の影響を受けて強くなっていく姿を、農業高校の日常を踏まえて「ミカル」に表現した。

演劇部三年の林映良部長(心は「これと違っていいか」に驚いた)と受賞を喜び「全国に行く後輩たちは、三年生のまねではなく、自分たちらしく演じてほしい」と期待を込めた。

大会は六十八回目。岐阜、愛知、三重、福井、石川、富山の六県の代表全十七校が参加した。(稲垣遥輝)



最高賞の文部科学大臣賞を受ける岐阜農林の生徒。石川県野々市市で

☆ 演劇部 中部日本高校演劇大会で 文部科学大臣賞に輝く ☆

部活動報告

(H27年9月～H28年1月)

演劇部

中部日本高校演劇大会

文部科学大臣賞

◎相撲部

【県高校選手権大会】

個人の部

一年生の部

優勝 1N 浅野弘明

2位 1N 山田拓実

二年生の部

三年生の部

2位 2D 丸山紘史

3位 2F 丸山恭史

2N 吉池生樹

総合の部

優勝 3N 加藤順也

3位 2F 丸山恭史

2N 吉池生樹

【県新人大会】

団体の部

優勝(9連覇) 2D 丸山紘史

2N 吉池

(中日新聞 平成27年12月28日付)

個人総合の部
2 F 丸山恭
優勝 2 D 丸山紘史
2位 2 N 吉池生樹
3位 2 F 丸山恭史
個人100kg未満級
優勝 1 N 山田拓実

◎男子バスケットボール部
【地区総体】
四回戦 本校119―50岐阜
準決勝 本校75―51岐阜総合学園
決勝 本校81―42富田
優勝 本校81―42富田

◎女子バスケットボール部
【地区総体】
四回戦 本校68―24岐阜
準決勝 本校43―70県岐商
三位決 本校67―48岐阜総合学園
第3位 本校67―48岐阜総合学園

◎男子ソフトテニス部
【地区総体】
一回戦 本校1―2岐阜各務野
第1競技 標準障害90 L J
4位 2 A 白川玲奈
第2競技 標準障害80 L J
3位 2 H 稲見友里
5位 2 N 福田統威
第3競技 ジムカーナ一般
2位 1 E 吉田汐音
3位 2 A 野綱風子
6位 1 A 加納大暉

◎女子ソフトテニス部
【地区総体】
一回戦 本校1―0恵那
準々決 0―2多治見西
ベスト8

◎硬式野球部
【県下選抜大会地区予選】
一回戦 本校7―3各務原
代表決定戦 本校3―6岐阜北

◎馬術競技大会
第1競技 馬場馬術A2課目
一般
1位 2 A 長嶺嘉朗
L J
3位 2 B 高橋諒太
第4競技 標準障害90 L J
4位 2 A 白川玲奈
第5競技 標準障害80 L J
3位 2 H 稲見友里
5位 2 N 福田統威
第6競技 ジムカーナ一般
2位 1 E 吉田汐音
3位 2 A 野綱風子
6位 1 A 加納大暉

◎水球部
【高校総体】
決勝 本校1―30大垣東
2位

◎男子バレーボール部
【東海総体】
予選トーナメント
本校2―23名古屋
敗者戦
本校1―17四日市中央工業
本校1―10岡崎城西
8位

◎男子バレーボール部
【全日本高校選手権大会】
県代表決定戦
一回戦 本校2―0美濃加茂
二回戦 本校2―1岐山
三回戦 本校0―2関商工
ベスト16

◎硬式野球部
【県下選抜大会地区予選】
一回戦 本校7―3各務原
代表決定戦 本校3―6岐阜北

◎硬式野球部
【県下選抜大会地区予選】
一回戦 本校7―3各務原
代表決定戦 本校3―6岐阜北

◎馬術競技大会
第1競技 馬場馬術A2課目
一般
1位 2 A 長嶺嘉朗
L J
3位 2 B 高橋諒太
第4競技 標準障害90 L J
4位 2 A 白川玲奈
第5競技 標準障害80 L J
3位 2 H 稲見友里
5位 2 N 福田統威
第6競技 ジムカーナ一般
2位 1 E 吉田汐音
3位 2 A 野綱風子
6位 1 A 加納大暉

◎水球部
【高校総体】
決勝 本校1―30大垣東
2位

◎男子バレーボール部
【東海総体】
予選トーナメント
本校2―23名古屋
敗者戦
本校1―17四日市中央工業
本校1―10岡崎城西
8位

◎男子バレーボール部
【全日本高校選手権大会】
県代表決定戦
一回戦 本校2―0美濃加茂
二回戦 本校2―1岐山
三回戦 本校0―2関商工
ベスト16

◎硬式野球部
【県下選抜大会地区予選】
一回戦 本校7―3各務原
代表決定戦 本校3―6岐阜北

◎硬式野球部
【県下選抜大会地区予選】
一回戦 本校7―3各務原
代表決定戦 本校3―6岐阜北

【地区総体】

一回戦
本校0―2長良

◎女子バレーボール部

【全日本高校選手権大会
県代表決定戦】

一回戦

本校2―0土岐紅陵

二回戦

本校0―2大垣日大

【地区総体】

一回戦

本校2―0鶯谷

二回戦

本校0―2本巣松陽

◎ソフトボール部

【地区新人大会】

一回戦

本校3―10本巣松陽

三位決

本校36―2岐阜聖徳学園

3位

【県新人大会】

一回戦

本校15―0岐阜聖徳学園

準々決勝

本校1―4土岐商業

ベスト8

【地区総体】

一回戦

本校1―5岐阜女子

3位

◎剣道部

【地区新人大会】

男子団体

一回戦

本校4―0加納

二回戦

本校0―4富田

個人

2 F 吉倉佑真 3位

【県新人大会】

男子団体

一回戦

本校2―3県岐商

◎陸上部

【県高校新人大会】

一〇〇m

2 H 村瀬怜美 準決勝進出

四〇〇mリレー

2 H 村瀬 2 F 関谷

2 H 會田 1 H 安藤

決勝進出 7位

◎演劇部

【中部日本高校演劇大会】

文部科学大臣賞

名古屋演劇ペンクラブ賞

◎放送部

【県高校放送コンテスト
新人大会】

朗読部門

4位 2 H 安藤麻央

5位 1 A 近藤亜麻菜

7位 2 D 東美有

◎吹奏楽部

【吹奏楽コンクール
高校の部県大会】

銀賞

【アンサンブルコンテスト
岐阜地区大会】

銀賞

クラリネット四重奏

銅賞

サクソフォン四重奏

銅賞

金管六重奏

◎書道部

【国際高校選抜書展】

入選

3 F 長野綾音

2 A 小川裕里子

【全日本高校書道公募展】

特選

2 E 中村真由

準特選

2 A 小川裕里子

金賞

3 F 三嶋彩夏

2 B 川瀬文也

銀賞

2 H 飛田和泉

1 A 岡田那美

銅賞

3 F 長野綾音

1 F 的場海人

【県高校総合文化祭】

奨励賞

2 A 小川裕里子

【各務原市高校生美術展】

優秀賞

2 H 飛田和泉

入選

2 A 小川裕里子

2 E 中村真由

1 A 岡田那美

2 B 川瀬文也

◎写真部

【県高校総合文化祭】

優秀賞

2 F 竹中玲奈

1 A 森咲月

入選

3 A 山内詩歩花

2 A 笠井里佳子

2 B 山口修矢

1 A 矢野翔子

1 N 大月詩野

【各務原市高校生美術展】

奨励賞

1 A 堀七海

2 F 竹中玲奈

2 A 笠井里佳子

1 N 松波亜美

1 F 加納悠希

3 B 白木楓子

1 E 手塚優樹

◎美術部

【各務原市高校生美術展】

奨励賞

1 A 杉山鈴奈

入選

3 F 田中楽望

1 F 中島綾音

【県高校総合文化祭】

入選

3 D 布谷雪

1 A 杉山鈴奈

1 F 中島綾音

◎植物プロ部

【学校農業クラブ県大会
フラワーアレンジメント競技】

優秀賞

2 H 加納沙乙里

【全国高校生押し花コンテスト】

奨励賞

1 H 吉田未紗希

会員の動向

◆訃報

水谷克己(昭和14年林業科卒)

平成27年11月10日 逝去

本校の実習製品紹介

岐農の逸品⑩ シクラメン

本校のシクラメンは、「花保ちがよく、株が元気で長く楽しめる」「昨年度の株も元氣だよ」と多くのお客様よりご好評を頂けるようになりまし。近年の異常気象への対応も万全にでき、引き締まった株を年内出荷できるようにになりました。10月の学校祭ではミニシクラメン、11月後半から5号鉢シクラメンの販売を、本校販売所のうじょう君をはじめ「おんさい広場」などでの販売も行っています。



(文責 伊佐治幸代)

母校の野鳥紹介 25

チョウゲンボウ

校内で猛禽類を見かける機会は少ないですが、そのなかでも比較的確認されるのがチョウゲンボウです。これはハヤブサの仲間、ハシボソガラスより小さくてスマートな姿をしています。水田から畜舎周辺に餌となるスズメやイナゴ等を狙っているからです。



(文責 福井強志)

母校の銘木紹介 25

ヒノキ

昭和9年に本館西側の農場に行く道路の両側にヒノキが植えられ、30年頃にはりっぱな並木に成長したが、昭和32年の伊勢湾台風で、大きな被害をうけ、その後イチョウ並木に変わりました。その時植えられたヒノキが1本だけ、旧同窓会館の東シイタケの栽培されている所にひっそりと風格を残しています。



ヒノキは広く植林されている常緑針葉樹で、樹高は30mを超えるものもあります。建築用材ではなくてはならない木で、伊勢神宮の式年遷宮に使用されているのはよく知られています。

(文責 坂井幸康)



ENDO 株式会社 遠藤造林 代表取締役 遠藤一美 技術参与 遠藤一二三 専務取締役 遠藤雅樹

丸栄コンクリート工業株式会社 明日をかたちづくる 代表取締役 関谷俊征

中衛工業株式会社 代表取締役 関谷俊征

金幣社 大井神社 宮司 園部隆雄

郡上舗道株式会社 代表取締役 高橋勇

株式会社 松野組 総合建設業 代表取締役社長 松野守男